

平成 24 年度生理学研究所研究会

痛み研究の新たな展開

開催期間：平成 24 年 12 月 13 日（木）13 時 ～ 14 日（金）13 時

場所：自然科学研究機構 岡崎総合バイオサイエンスセンター セミナー室

提案代表者：岩田幸一（日本大学歯学部生理学講座）

所内対応者：富永真琴（岡崎統合バイオサイエンスセンター細胞生理部門）

12月13日(木)

12:30 ~ 受付

13:00 開会の挨拶 岩田幸一 (日本大学歯学部生理学講座)

セッション1 座長: 津田誠 先生 (九州大学大学院薬学研究院薬理学分野)

13:05 ~ 13:25

演題1 「末梢神経損傷による免疫系細胞の脊髄内浸潤および神経障害性疼痛における TRPM2 の役割」
勇昂一、原口佳代、朝倉佳代子、白川久志、中川貴之、金子周司 (京都大学大学院薬学研究科/薬学部生体機能解析学分野)

13:25 ~ 13:45

演題2 「新規鎮痛標的分子としてのミクログリア Ca²⁺活性型 K⁺チャネルの特性」
林良憲、中西博 (九州大学大学院歯学研究院口腔機能分子科学)

13:45 ~ 14:05

演題3 「神経障害性疼痛モデルマウスの一次知覚伝達系における macrophage/microglia の由来と極性化」
仙波恵美子、上勝也 (和歌山県立医科大学医学部第二解剖)

14:05 ~ 14:25

演題4 「抗うつ薬およびトラマドールの神経障害性疼痛改善作用とそのメカニズム」
榊山実、前田早苗、白川久志、中川貴之、金子周司 (京都大学薬学部生体機能解析学分野)

14:25 ~ 15:15 教育講演1

ミクログリアの産生するカテプシン群の慢性疼痛における役割

講師: 中西博 先生 (九州大学大学院歯学研究院口腔機能分子科学分野)

座長: 岩田幸一 先生 (日本大学歯学部生理学講座)

15:15 ~ 15:30 コーヒーブレイク

セッション2 座長: 中川貴之 先生 (京都大学大学院薬学研究科生体機能解析学分野)

15:30 ~ 15:50

演題5 「局所麻酔薬レボブピバカインの rNav1.8 チャネルに対する作用」

川津領一^{1,2}、井本敬二^{1,3}、歌大介¹、岡本孝史²、増井邦晴²、田矢廣司²、山村睦朗²、池田雅弘²、古江秀昌^{1,3} (1生理学研究所神経シグナル、2丸石製薬株式会社中央研究所、3総合研究大学院大学生理学科学)

15:50 ~ 16:10

演題6 「下歯槽神経切断ラットに発症する異所性機械アロディニアに対する三叉神経節内 NO の関与」
杉山朋久¹、篠田雅路²、高橋理¹、岩田幸一² (1神奈川歯科大学人体構造学講座組織学分野、2日本大学歯学部生理学講座)

16:10 ~ 16:30

演題 7 「**An alternative splicing variant of mouse TRPA1 regulates channel activity under inflammatory and neuropathic pain conditions**」

Yiming Zhou^{1, 2}, Yoshiro Suzuki^{1, 2}, Kunitoshi Uchida¹, Makoto Tominaga^{1, 2} (1Division of Cell Signaling, Okazaki Institute for Intergrative Bioscience, Okazaki, Japan, 2SOKENDAI, Okazaki, Japan)

16:30 ~ 16:50

演題 8 「メラノーマ担癌マウスの自発的舐め行動における酸感受性イオンチャネル ASIC1a の関与」

今井亮太、安東嗣修、西知恵、藤田真英、倉石康 (富山大学大学院医学薬学研究部応用薬理学教室)

16:50 ~ 17:05 コーヒーブレイク

セッション 3 座長： 鈴木喜郎 先生 (岡崎統合バイオサイエンスセンター細胞生理部門)

17:05 ~ 17:25

演題 9 「ストレス誘発性機能性胃腸症モデルにおける CRF および NGF の関与」

小酒井友、林功栄、堀紀代美、易勤、山口豪、白石昌武、中村恒夫、尾崎紀之 (金沢大学医薬保健研究域医学系機能解剖学分野)

17:25 ~ 17:45

演題 10 「**Muscular Mechanical and Heat Sensitivity After Lengthening Contraction, Modulation of Heat Sensitivity by NGF**」

Luis F. Quemé¹, Kazue Mizumura² (1Res. Inst. Environ. Med., 2Nagoya Univ. Coll. Life Health Sci., Chubu Univ.)

17:45 ~ 18:05

演題 11 「ラット下腿筋膜は侵害受容を担う感覚組織である」

久保亜抄子^{1,2}、田口徹¹、安井正佐也³、阿部真博⁴、木山博資³、山中章弘¹、水村和枝² (1名古屋大学環境医学研究所神経系分野Ⅱ、2中部大学生命健康科学部理学療法学科、3名古屋大学大学院医学系研究科機能形態学講座機能組織学分野、4ビタカイン製薬株式会社学術部)

18:05 ~ 18:25

演題 12 「三叉神経脊髄路核尾側亜核におけるエストロゲンの代謝型グルタミン酸受容体への影響」

田代晃正、西田育弘 (防衛医科大学校生理学講座)

18:25 ~ 懇親会

12月14日(金)

9:00 ~ 9:50 教育講演 2

痛みの治療の現状と今後の展望

講師：井関雅子 先生（順天堂大学医学部麻酔科学ペインクリニック講座）

座長：富永真琴 先生（岡崎統合バイオサイエンスセンター細胞生理部門）

セッション 4 座長：古江秀昌 先生（自然科学研究機構生理学研究所神経シグナル研究部門）

9:50 ~ 10:10

演題 13 「成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの GABA およびグリシンを介する自発性抑制性シナプス伝達に及ぼすオキシトシンの促進作用」

熊本栄一、蔣 昌宇、藤田亜美、大坪瀬奈、羅 清甜、康 欽、松下晋大（佐賀大学医学部生体構造機能学講座（神経生理学分野））

10:10 ~ 10:30

演題 14 「帯状疱疹による自発性搔痒の発生メカニズム」

佐々木淳、Adhikari Subash、倉石泰（富山大学大学院医学薬学研究部応用薬理学研究室）

10:30 ~ 10:50

演題 15 「新規自然免疫活性化受容体の神経障害痛発症における役割 - ノックアウトマウスを用いた行動学的検討 - 」

八坂敏一¹、村田祐造¹、飯笹英一²、池田弘⁷、津田誠⁵、園畑素樹⁴、笹栗智子³、平川奈緒美³、藤田亜美¹、熊本栄一¹、増子貞彦¹、井上和秀⁵、吉田裕樹²、山崎晶⁶、原博満²（¹佐賀大学医学部生体構造機能学・²分子生命科学・³麻酔蘇生学・⁴整形外科学、⁵九州大学大学院薬学研究院薬理学分野・⁶生体防御医学研究所分子免疫学分野、⁷福井大学大学院工学研究科知能システム工学専攻）

10:50 ~ 11:10

演題 16 「QX-314 はカプシエイトまたはアナンドアミドとの併用投与で侵害熱刺激反応を抑制する」

中川弘¹、樋浦明夫²（¹徳島大学病院障害者歯科、²徳島大学歯学部口腔組織）

11:10 ~ 11:25 コーヒーブレイク

セッション 5 座長：篠田雅路 先生（日本大学歯学部生理学講座）

11:25 ~ 11:45

演題 17 「覚醒サル体性感覚野ニューロンの侵害熱刺激に対する応答」

海野俊平、本田訓也、岩田幸一（日本大学歯学部生理学講座）

11:45 ~ 12:05

演題 18 「慢性腰痛患者における腰痛関連脳活動と心理物理的尺度との関係」

松尾洋平¹、倉田二郎²、吉田勝浩¹、関口美穂¹、二階堂琢也¹、紺野慎一¹（¹福島県立医科大学整形外科学、²東京医科歯科大学麻酔科）

12:05 ~ 12:25

演題 19 「精神医学からみた痛み」

西原真理 (愛知医科大学学際的痛みセンター)

12:25 ~ 12:55

演題 20 「GDNF による抗アロディニア作用の新しい分子メカニズム」

福岡哲男、野口光一 (兵庫医科大学解剖学講座神経科学部門)

12:55 閉会の挨拶

富永真琴 (岡崎統合バイオサイエンスセンター細胞生理部門)